

[パターン4] 状況判断能力(重要度、優先度)を確認する出題

(医師国家試験の例)

86歳の男性。ケトン性アシドーシスによる意識障害のため搬入された。入院後インスリン療法で意識は回復し、通常の日常に戻れるメドが立った。82歳の妻と2人暮らしである。かかりつけ医から耐糖能異常に対して食事療法を受けていたが、入院までは自立した生活を送っており、散歩や庭仕事を楽しんでいた。子供はいない。
退院に向けて重要性が低いのはどれか。

- a 栄養指導
- b 家屋改造
- c ケアカンファレンス
- d かかりつけ医との相談
- e インスリン自己注射の指導

(薬剤師国家試験出題のイメージ)

患者K.M.(男性55歳)は、高コレステロール血症のため、近医(H医院)よりシンバスタチン錠を投薬されていた。ところが、激しい胃痛のため総合病院を受診した結果、オメプラゾール錠、クラリスロマイシン錠、アモキシシリンカプセルが追加された。7日後、患者は、「筋肉の痛みと褐色尿」を訴えてかかりつけ薬局に来た。
薬剤師の対応として重要度が最も低いのはどれか。

- 1 直ちに総合病院を受診するように指導した。
- 2 他に医薬品や健康食品等を服用していないか確認した。
- 3 直ちにすべての服薬を中止するよう指導した。
- 4 医師に、シンバスタチンとクラリスロマイシンの相互作用による副作用の可能性が考えられることを説明した。
- 5 高コレステロール血症であるので、暴飲暴食を避けるよう指導した。